

お元気ですか日本共産党村議の 川崎あつ子です

(かわさき 篤子)

8年から10年ぶりと言われる大雪に見舞われた18日の朝、みなさんはいかがでしたか。小中学校は、2時間遅らせて登校になりました。教育委員会は、5時半頃から「雪の中の登校をどうするか」と対応の検討をし「雪道に慣れないドライバーからの交通災害を避けるために登校を遅らせる」指示をしたということでした。また登校を見守る保護者、先生方、ボランティアのみなさん子どもたちの見守りお疲れ様でした。雪を口にしながら元気に登校する子もいました。



白方小正門前

3月議会が始まります。
日程は次の通りです。ぜひ傍聴におこし下さい。

3月 1日	午前10時～	開会
9日	代表質問	
10日	午後1時～	代表質問
11日	一般質問	
12日	〃	
15日	午前9時～	予算委員会
16日	〃	〃
17日	〃	〃
19日	午後1時～	予算委員会
25日	議案審議	閉会

【バックナンバーは川崎あつ子 (<http://jcp-net.jp/ibahoku/toukai/kawasaki/>) でお読みいただけます】



2010年 2月23日 32

ご相談はお気軽にお寄せください

〒319-1106 東海村白方284-1

TEL/FAX 029-282-0229

atsukok@nexyzbb.ne.jp



童心にかえり娘と合作(^ v ^)

感動の講演 子どもが作る“弁当の日”

19日東海文化センターに於いて、東海村教育振興大会が行われました。文教厚生委員会のメンバーとして来賓参加をしました。学校教育及び社会教育に献身的な努力と功績を挙げた方々への表彰が行われました。その後「弁当の日が生み出すくらしの時間 家族の絆はいつ生まれるか」と題する香川県の中学校校長竹下和男氏の講演がありました。

月に一度、子どもたちが自ら作ったお弁当を持ち寄り、昼食を楽しもう！それが「弁当の日」のはじまりでした。それが今では、食育の一環として、現在全国600を越える小中学校へ広がっているそうです。買い物から献立作りまですべて自分ひとりで行い、親は一切手伝わないと



HPから

いうもの。「弁当の日」の対象は、小学校5・6年生で、学年の前半の家庭科授業で作り方を学び、10月から月1回の年5回。竹下校長先生が子どもたちに伝えたかったのは、生きていく力を養うこと 作ってくれる人(親、給食の調理員、生産者)の気持ちがわかること 食べ物の「命」をイメージできることなど「失敗を乗り越えて弁当を作る機会を」と校長先生の教育へのあつい思いに感動しました。5・6年生が作ったお弁当を、給食をとる1～4年生と一緒にランチルームで食べます。このことで給食残量も減り、ゼロの学校も生まれているそうです。

要望

「通学路になっている排水路の上に駐車するのは危険、ポールを立てて欲しい」との要望があり、早速役場に問い合わせたところ、現地を確認し、出来るだけ急ぎ対応致しますとの、返事がありました。身近なご要望をお寄せ下さい。



村松北2丁目



17日早朝駅頭

テレビでおなじみの志位和夫委員長が国会の様子をわかりやすくお話しします。ぜひこの機会にお聞きください。

3月5日金曜日午後7時
水戸市民会館大ホール
で、日本共産党演説会を行ないます。
入場は無料です。お誘い
合わせておいで下さい。